

## 「税金で」ってそんなに悪い言葉かな？

大阪市立喜連中学校3年  
高島 花音

ねえ、ちょっと聞いて！この前、学校行く途中で、不思議なメガネを拾ったの。ベンチにぼつんって置いてあって小さな紙が貼ってあった。

「このメガネをかけると税金が使われている場所が見えるよ。」って、なんだか面白そうに思いきってかけてみた。すると、目の前の信号機に「税金で動いています！」って文字が浮かび上がったの。びっくりして周りを見ると、歩道の植木、電柱、全部に「税金で～」って表示が出てる。数歩歩いただけで世界が「税金でできている」ことに気づいて驚いた。

今まで私は税金って買い物のときにちょっと払うもの、くらいにしか思っていなかった。でも学校に着いてもっとびっくり。校門には「税金で建てました」、体育館には「税金で建設」、教室の机や椅子、全部に「税金で購入」の文字。私は今まで税金の中で暮らしていたんだなあって思ったら、なんだかちょっと笑えてきた。理科室の試験管、家庭科のミシン、給食室の道具まで、「税金使用中！」。でも、それがあから学べて、給食も食べられる。当たり前じゃないんだ。誰かが払ったお金がこうやって使われているんだ。その日の給食は今までで一番おいしく感じた。見えない誰かのおかげで、私の毎日ができているって気づいたから。帰りに図書館にも行ってみた。そこでも本棚やパソコンに「税金で整備」の文字。ふと、「この国って優しいな。」と思った。

バス停のベンチに、おばあちゃんと横に並んで座った。「暑いね」って少し話した。そのベンチにも「税金で設置」の文字。もしなかったら、おばあちゃんは立ちっぱなしだったかもしれない。こういう小さな優しさにも税金が関わっていると思ったら心がぽかぽかしてきた。家に着くとゴミ収集車が止まっていた。作業員さんの服や手袋にも「税金で～」の文字。今までは「くっさ～」って思ってたけど、今は「ありがとう。」って思えた。町がきれいなのは、働く人たちのおかげなんだ。感謝って、見ようとすれば見えるんだ。

え？メガネがいつのまにかなくなっていた。でも、もう必要なかった。私の目には、ちゃんと「ありがとうのしくみ」が見えるようになっていたから。「税金は金の無駄遣い」って言う人もいる。でも、私が見た世界は無駄じゃなかった。「ありがとう」であふれていた。税金は誰かのために使われるお金。そして、誰かは未来の私や友達かもしれない。今日私は、税金の世界を見て、少しだけ大人になった気がする。いつか働いて税金を払うようになったら、誰かが笑っていてくれるだけで私はうれしいな。「これからもみんなが笑顔でいられる社会になってほしい。」

でも、一つ心配なのはこのメガネを落とした人が困ってないかってこと。だって、めちゃくちゃすごいよ！未来を作る大切な発明だよ！見つけたら「本当にありがとう。」って伝えたい。お礼に、家にあるプリン半分こしよ！！この気づきは宝物になった。